京城日日新聞

婦人問題の將來（中）

海老名彈正

女子は戰ひを嫌ふ純々であり、平和の使であり平和の主張者である、男の爭鬪も是を和睦する者は女である。かくて今や世界そのものは女子の上に移り、女は世界の取り計らひをもする樣にたりつゝあるのである。昔支那の文學者は女は國を傾ける者なりと考へたものであるが、今は其女が國を掌る有樣となつたのである。斯く女子が世界の上に擡頭する時代となつた以上は女子の地位を高むる必要上大學程度の教育を必要とすることは當然である。併し學問に依つて女子の地位を高むるのみを以て滿足することは出來ない。

現在の女子は今後如何に成り行くかは未知數であるが故に、是をして所謂良妻賢母たらしむべき點に教育の同時を置かねばならないのである。元來家庭本位の東洋流の教育を受けたる女子を以て良妻とし賢母と稱してゐたる日本が、果して此良妻賢母の形ちを破壞するか否やをも考慮する必要がある高等教育を與へたるその結果は、群馬縣地方は養蠶の非常に盛な所であつて、女子の職業は一般に養蠶で養蠶の後は生糸を取る事が女子の仕事となつてゐる。そして或地方の如きは朝夫が飯を炊き湯を沸かし女は夫の炊いた飯の出來る頃退き出て、沸かしてある湯で仕事に取りかゝる有樣で、俗に云ふ嬶天下なるものである。是は此地方の女子が遙かに男を凌駕する丈の働きをする爲に、自然女子をして増長せしめたる現象の一つである。是に反し九州地方では娘の子を多く持てば家が亡びるとさへ云はれて居る。[illegible]

世界各地の形勢を知る丈の智識の必要を來したのである。のみならず男子が外に活動することの多いだけ、實會其他の會合も多く從つて或はこれは花柳の巷に足を踏み入るゝ機會も多くなる譯であるから、良妻賢母は昔と異り是をその儘に默過することは出來ない時代となつたのである。夫をして眞のゼントルマンとしての資格を保たしむるは良妻たる者の責務であると共に、是等不完全なる社會の改造に向つて努力することを要するのである。[illegible]

比律賓紀行（七）

小林淺吉

（二）馬尼剌市　イ　馬尼剌市島嶼

馬尼剌市は、支那人が之を小呂宋と呼ぶが如く、實に呂宋島の要樞であり、且つ比律賓群島の眼目である、餘程以前から開けたもので、西班牙人渡來以來卽ち、三百年前以前に於て旣に人口三萬を算してゐた、此邊の住民は北島二大民族中のタガログ人で、當時はボルネオから移住した、モロの酋長の支配下に在つた。當時の文明程度は他の東洋諸國民と大差なく、甘蔗、椰子、藍、甘藷、其の他の諸根類、バナナ、檳榔子、ランソム、タマソンド、菜などを耕作し、又アバカから布を織り、棉の木から棉を取り、鑛物を精錬して器物及び兵器を作り、小なる大砲を造る位まで進んでゐた、宗教は南方モロ人の感化を受けて、回々教を奉じてゐた、支那との貿易は、尤も古く西曆千二百年代、旣に陶磁器、金屬器、鐵針、眞珠、籐製品の類を取引してゐたと云ふに徵しても、當時のマニラが決して蠻人の棲息する僻地でなかつた事を知る事が出來得る。

間島より

出兵後の狀況　生

▲六道溝在住の邦人は擧つて兵士の食糧、宿舍等の爲めに盡力し其の家の廣狹に應じて進んで兵員の宿舍に供しつゝある

▲物價の平衡を保つ爲めに官憲は極力防止に力を盡して居るが、中には鮮人に暴利を貪らんとするものある、此の際若干の騰貴を見るは總ての關係なるを以て、內地人に於ては此の暴利を貪るやうな不心得者は斷じて無かるべし

▲軍隊の入城と共に食糧は平衡を保つ能はざるも幸ひに本年は豊年なれば米麥も野菜も決して不足無かるべしと思ふが、野菜は支那人の占有にして米麥は多く鮮人の有に屬するを以て鮮等は思はぬ利益を得るなるべし、牛肉鷄卵等も不足が無いらしいが獸肉の價は稍高きに失するやうである

▲我軍隊の入城に際して支那官憲[illegible]

[illegible]滿洲地方には我が憲兵が惡い支那人を毆打せるを見しより此の珍妙な言葉を生じたものだと云ふ

▲一時は六道溝方面は不穩氣の爲め途上に人影を見ざる程であつたが、今度我軍隊の入城以來は郵便局附近や公會堂附近は人出實に夥しく何れも軍隊を見んとて雜踏するのである、此の軍隊見物の人の多くは鮮人にして、市中の者よりも一二里も遠方の村落から見物のため出て來たものが多い、其のノンキ千萬なる他所の見る目も憐れな位である

▲併し油斷は大敵、過日も軍隊と前後して龍井村に來りし者あり、大拉子附近に於て暮れ途を迷ひ一人の鮮人に道を聞ふと親切に伴ひて行くと間違ひがおこる、左に行け右に往けと甚しく欺へてくれたので其人之れを信じて右折したれば終に妙な村落に出で非常に迷惑をしたと云ふ話、ウツかりすると彼等に謀られるのである

極東中央政權

日本の期待に反せん

極東各政權代表者は十月十五日チタに集合し、成し得れば直に極東中央政府組織に着手し同日以後六週間後に召集せらる可き國民大會に於て中央政府組織に就いて何等かの決定を見るまで極東中心政權たるべしと云ふ而して各政權代表者は三四名宛なるが隨に自政府の獨立的地位を主張することを放棄せりと云へるウヱルフネウヂンスク政權を設定[illegible]政府は新に其の分身とも[illegible]努力圏内の代表者を多數に[illegible]努力しつゝ居れり、極[illegible]統一的政府の出現は可[illegible]目下極東の紛糾せる事情に[illegible]斯くの如く急激にして、而[illegible]派に歸するが如き傾向ある[illegible]權の出現は或は却つて除外[illegible]たる他政派をして、激怒せ[illegible]爲をして益紛亂に導くも[illegible]ずや又中央政權は日本が期[illegible]ける色彩のものたるは云ふ[illegible]かるべし

日日歌壇（投稿歡迎）

雜詠　眞鍋則之

幼兒は圓かにして肉肥り瘦せゆく人の痛はしもいと

遊び初めし幼兒餘りに愛らしく玩具を投て遊はせ見たりき

周衣を脫て老婆は幼兒のからだいとしみ蚊を追ひにたり

煙草喫まば兒の言ふ如いささかの慰めもなきものかいと寄し

戀は悪し　濟子

戀も若きも處女心も雜りて闇路を歩みゆかんと思ふ

怨むまじ戀なればこそ君故に我心ひたなやめるものを

いと深き戀の傷手を胸に秘め泣かば我はも初秋の夜半

二九にして初めて知りし戀心滅びゆく身のはじめなるらし

いま摘みてなよと搖れ搖るましろなるコスモスの花に降りもそそぐ

秋の雨

限りもしらぬ心の海より離れ響くはをとめのこころ

十五行以內文藝係宛

新刊紹介

■田中中將　時代青年修養指導（定價八十錢）[illegible]

■現代（創刊號）婦人倶樂部等と一緒に生れたもので一口に言へば婦人倶樂部を男性化した樣な政論、社會論、雜觀、說教、落語等に亙つてゐる[illegible]

■講談倶樂部十一月號　表紙も改正されて高尚となりたるは同誌の一新紀元で、內容の「なるものは大谷桃郎の「御沙汰の子」の「狂氣京阪」「紀州雀の因人」[illegible]（定價八十錢郵稅三錢　本郷駒込坂下講談社）

■廣瀨中佐の修養法（田中中將推奬若月文學博士著）現陸軍大臣田中中將は軍神廣瀨中佐の親友であつた其中將が當時を追懷しての軍神談を加へた此新書は此の廣瀨中佐傳になき美談を傳へて居る軍神逝いて旣に十五年英魂漸く地を拂はんとするの時[illegible]

名士の玄關

鎌田榮吉先生　東京支局　一記者

▲目黑終點で電車を下りてダラ〳〵坂を下れば、小さい小川の流れも氣持ちよく、彼方此方に昔ながらの茅葺の家の建つて居るのも郊外氣分を味ります。

▲殊に郊外の冷へ切つた土と空氣とは雜沓の中に鬱屈に包まれつゝ働く人の頭腦をドノ位爽付けることでありませう。

▲學界に在つては三田の塾長として、又政界に在つては研究會の牽頭の幹たる鎌田榮吉先生の御邸も此の郊外下目黑五五五番地に在ります。大きな杉の木に取圍まれた中に洋館の瀟洒の建物、前には築山もあり小亭もあります。綺麗に敷き詰められた小石の坂路を上ると玄關に行きます。

▲先生を始めて訪問したものは誰でも一度はマゴ附いて三十分なり四十分なり、時としては一時間位時間をフイにして仕舞ふことがあります。そして如何に大聲で案內を乞ふても出て來られない時、根氣まけをして歸らうとする時、始めて頭上にある半鐘が目に附きます。

▲先生のお邸では玄關と呼鈴とが非常に離れて居る爲めに、又若し呼鈴などで故障でも出來て居る時はいけない爲めにといふ所から半鐘を代用せられたと聞いて居ります。

▲所が先生にはモツト異つた意味に於てこの半鐘の御利益があるさうです。それは其の半鐘の音響によつて、叩き手を知り、更に訪客の男であるか、女であるか、老人であるか、青年なるかも、永い間の經驗で略ぼ解るさうです。

▲殊に神經質の人の叩き方や、訪問なれない人の叩き方などは直ぐ分るさうです。それよつて應接間に通された時はそれ〳〵話題がチヤンと準備されて居るのには一寸驚かされます。

創作

熱光の下を（三七）

曉谷

俺が詩を感じて、お糸の奴は人生五十年だなんて妙に支那式の悲憤を齎らして嘆息するのだ。それが低級な、安つぽい感傷であるだけに眞實に生の幸福を感受することは極めて地味なことだと思つてゐる。何も、尊大ぶつたり實感を誇張したりして勿體らしくつても好い。兎に角、俺のお糸に對する不滿は、彼の女が餘りに俺と懸け離れた內面生活をやつてゐるからだ。お糸が精神的に俺から離れて行くことは、唯一の反逆であつて、又强い破壞である。

斯うは思つたものゝ、矢張り俺はこのまゝ默してはいけないやうな氣がする。人間の運命か人力で動かせないものなら、俺だつて宿命の[illegible]

「さうだ。俺はこれから江津に行つてお糸を連れて歸らう」と思ひつくと俄に元氣づいたやうになつて、マントを着て足早に出掛けて行つた。本宅の前まで來ると、奧の方にお阿母の姿が見えたので、つか〳〵と家へ上つて行つたらお阿母も驚いたやうに顏を上げた。

「お糸が歸つた」と言ふと、

「お糸が歸つた？」と鸚鵡返しにお阿母が問返す。「何時かい」

「先刻です。で、俺はこれから行つて伴れて歸らうと思つて出掛けたところぢや。實はお祖母さんか叔母さんに行つて貰ふ處ぢやが、面倒だから俺が行つて來ます」

俺はかう言ひ捨てゝ、今にも暗くなりさうな街路を急いだ。まだ餘り餘計は行つてゐまい。ひよつとすると途中で追附くかも知れないと思つたからだ。

俺は無闇に急いでゐる內に町を外れて了つて、いつの間にか郊外の畑道を歩いてゐた。近道をしやうと思つて右に曲ると、丁度お糸と江津のお稻叔母サンに似た二人の女が二十間許り先を歩いてゐた。てつきりさうに違ひがないと思つたので、お糸が家を出る時かけて行つた茶色のショールを證據に追ひかけた。

俺が近づくに從つて年老つた方は其の眞相が明瞭になつて來た。似ても似つかない老女だ。俺はいくらか失望したが、神經が錯覺してゐるのか若い方の女はどうしてもお糸らしくつて仕方がない。少し肩を揃へするやうにして歩くのから似てゐる。

然し、距離が二間許りに近寄つて來ると、俺の期待はすつかり外れて了つた。お糸ぢやなかつたのだ。

湖畔の塘まで來ると煙のやうな夕靄が罩めて、冷えを含んだ湖の夕べが漠然とした悲哀を覺えさせるやうだ。

俺は妻を追ふて行くんだ……と少し宛自分自身の冷靜な理性に返りかけると、いぎたない執愛の爲に小一里の道を、而も去つた女を求めて行く俺自身が情なくなる。

くの字なりに曲つた方から、黑犬みたいな人影が動いて來る。それはお絲のお阿母とお稻叔母さんとだつた。人通の少い田舍の一本道のことだから同じ時刻に出逢つたのも不思議ぢやなかつた。

「今、あなたの家に行きかけてゐたところぢや」とお阿母が立止つて言ふ。

「一體どうした譯ですかい」とお稻叔母さんも側から口を添える。

「兎に角、行きませう。お絲はまだ居るのでせう」と、俺は言つて歩きかけると、お阿母や叔母さんは出足が間違つたと云ふ風に躊躇してゐたが

「あれは聞いて知つてるがの」と言ひ作ら、二人で蹤いて來た。俺は矢張りとつとゝ歩いて行つた。

内外電報

遂に大罷業現出

全英を飢餓に陥れんと傲語し　政府は應急策に焦慮す

百萬以上に上る英國炭坑夫は十六日罷業を開始せり　政府は各所に糧食配付に着手せり　又政府は急に應ずる策として取敢ず列車の省略を命ずるに至れるが一方鐵道從業員及運輸勞働者は十八日其の態度を決する筈なるも彼等は此擧に賛成すべし炭坑夫は六週間罷業を繼續して英國を飢餓に陥らしむべしと謂ひ居れるが政府は樂觀的態度を持し其の勝利を期し居れり（倫敦來電）

總罷業決行發表

英國政府は炭坑夫同盟罷業が十六日決行されたる旨公式に發表して石炭に關し比際石炭の節約を勸告し石炭の輸出を禁止せり　政府は當分期間に亘りて鐵道を運轉せしむる石炭を貯藏し必需品運搬に要する石炭を細微の點に亘りて準備し居れり（倫敦來電）

獨佛通商根據なし

ピツク、ベリチヤン紙の報道に依れば獨佛交渉再開され獨佛通商協約締結さるべしとの風聞は全く根據なきものにして獨逸は未だ賠償に關して何等具體的提案を爲さざるのみならず講和條約の賠償條項の履行に關して獨逸より誠意の表明又は誠實の表白を知るを得る能はずと（倫敦來電）

對米交渉一時中止

華盛頓聯合通信員の報道に依れば加州議會に提出せられたる日本人土地所有反對法案に關する國務省コルビー氏と幣原大使との交渉は一時中止せられたるが右は加州は土地法案確定に關し商議すべきも十一月の大統領選擧終了後迄再開せざる旨右の必要を生じたるなり（桑港來電）

米艦隊大航海企劃

米國海軍は明年夏季を以て試驗的大々航海を爲す旨海軍省より發表せり（紐育來電）

セ將軍暗中飛躍

セミヨノフ將軍は必死にウエルフネ政府轉覆の陰謀を企てウランゲル軍の殘黨是れが先鋒隊たるべしと說く者あり（哈爾賓來電）

北京政府辯明努む

北京政府は某通信員に對し左の事項を明白に發表せんことを要求したり（北京來電）

一、大總領徐世昌は頗る健康にて其一身に就き何等の變化なし
一、北京政府は轉覆されず
一、曹錕張作霖は北京に來り居らず
一、李純氏の死は謀殺又は暗殺に非ず
一、張勳氏を李純氏の後任とし江蘇督軍に任命せんと云ふは虛說なり

饑饉救濟好影響

日本人が積極的飢饉救濟に努力せるため支那人及外人に非常の好印象を與へ北京リーダーの論說も日本に對する好感を示しこの飢饉は日本が支那の信用恢復の好機とし且つ日本の誠意ある行動等を列擧せり（北京來電）

山東八團體の慫慂

山東省議會外八團體代表は十五日濟南より來京したるが其主なる目的は山東問題を國際聯盟に提出するの運動を行ふにありて近く政府をして該問題を聯盟會議に提出するや否やに就き明白なる聲明をなさしむべく運動を開始すべしと（北京來電）

討伐隊根據地包圍

十五日中佐の指揮する討伐隊は十五日拂曉不逞鮮人の根據地を包圍し頭道溝にて大韓獨立團の幹部兵卒文其他數名を捕へ有力なる證據書類軍器類を押收し同夜歸隊せり不逞鮮人の首魁と稱すべき者は何れも家族のみを殘し遠く逃走し居たり（奉天來電）

各部隊活動開始

森林隊の衛生隊は既に施療を開始し支那人の施療を乞ふ者日に多く支那人は盛に邦軍を歡迎し居れり……

飛行機配置近し

朝鮮師團增員内容

米物價益低落

米國の一般物價は益低落の傾向なり（紐育來電）

江蘇軍代理

十六日總統令にて齊燮元氏を代行江蘇督軍に任命せり（北京來電）

王氏其後任か

政府は王士珍氏を江蘇總督軍後任たらしむべく張作霖氏の同意を求むべく電報せり（北京來電）

靳氏の任命說

靳總理は江蘇督軍に任命され周樹模氏總理を繼承すべしといふ（北京來電）

饑饉救濟借款

支那政府は饑饉救濟借款一千萬元を起す事に決せり（北京來電）

南北海軍統一

廣東軍政府海軍部長林葆懌氏は十一月附を以て南北海軍統一成立せる旨宣言せり（廣東來電）

海軍將官會議

海軍省にては來る二十八日より一週間の豫定を以て海軍將官會議を開催し主として人事局提出の案に依り佐尉官中の人々に關し審議すべしと（東京來電）

東京市會議員一行

東京市會議員滿鮮視察團一行十五名は十七日夜下關着山陽ホテルに投宿したるが十九日朝出港の連絡船にて渡鮮すべし（下關來電）

露波休戰條約　成立の經緯

露國勞農政府と波蘭との休戰に就ては報道區々たるも十月八日講和豫備條件たるべき休戰條約を締結したることは確實なるべし同條約は同日より二十五日間の休戰を約せるものにして同期限中は同方面全線の軍隊の移動を許さざること等を協定し居れり……

チタの新政權　苦境に陥る

勘察加守備隊

カムチヤツカ半島守備の目的を以て沿海州保安部隊内に於ては、ここ百人より成る獨立部隊を編成中にして該部隊は將校及下士官候補生より編成せられ十月中旬ペテロパウロウスクにてカムチヤツカに向け出發の豫定なりといふ

バクー東洋會議

勞農政府の代表使節は最近バクーに開催せられたる東洋會議よりモスコーへ歸還したり……ペルシヤ、アフガニスタン、アルメニヤ、及ヒンドスタンの各代表者は……（下關來電）

海相の更迭期

田中陸相の進退

朝鮮現下の諸問題

齋藤總督談

大庭軍司令官告示

十七日午前十時

朝鮮軍司令官は今回の事件に關し十月十六日附を以て左の如く告示す

大日本帝國朝鮮軍司令官告示　朝鮮人中不逞の徒あり馬賊匪徒之れに加盟し兵器を携へ……帝國領事館を襲ひ之を燒殺し且動もすれば帝國臣民を殺傷し……故に敢て他意ある……支那主權は嚴重に之を尊重し良民の生命財産を保護し……

滿鮮商議聯合會

第二日

北支飢饉と我對策（上）

山根倬三

水産銀行難産

甘師團簡閱點呼

辭令

仁取の暗流緩和乎

京城革正派の態度奈何

朝鮮紡織開期

京城在米減ず

仁川商議建議案

原棉相場漸落

赤池局長歸任

南中將通過

仁川商議役員會

仁川より

西澤書記官一行

仁川學校會員來京

各校修學團卜仁

東拓小作米收納

彼都職工減少

鮮銀當局と貯銀條例

人事

風塵錄

電話番號變更

營業用

東京期米特電

十月十八日前場

大阪期米特電

十月十八日前場

十月十八日後場

仁川期米特電

十月十八日前場

十月十八日後場

永樂醫院　内科小兒科 産婦人科花柳科　京城永樂町

京城株式現物取引市場仲買人　白井株式店　白井友之助　京城黄金町一ノ三五　電話長六二二番・三四六九番

攝政王爆撃さる

セルビヤ 嘗て墺皇太子斃れた場所

[illegible]（ブラツセル來電）

日支協同の討伐軍

二十日以後に行動を開始せん

[illegible]

三支隊並び進む

約一千の賊團森林地帶に退却

[illegible]

支那人に貢金强要

危險なる尼古利斯克附近

十八日午前十時朝鮮軍司令部公表

[illegible]

不逞領袖の策戰

豫め妻子を避難せしむ

[illegible]

白衣不逞の跳梁

富豪を射殺し金員を强奪す

[illegible]

抵抗して射殺さる

對岸より浸せる不逞輩二名

[illegible]

積極的行動を執らん

自力討伐を主張するも此危機を支那に一任する能はず

林外務省參事官の談

[illegible]

生命財産

[illegible]

討伐目的

[illegible]

不安の念

[illegible]

軍旗親授式

[illegible]

李王世子殿下

[illegible]

安東の寸燐工場燒失

損害約壹萬圓

[illegible]

鳳輦嚴かに渡幸

朝露深き幽境を發し

歡樂の街を順路肅々と熱狂する市民に護られ

龍山の御旅所へ

宵祭の晩

[illegible]

奏樂裡に

[illegible]

機關 演説會場に

トロツキーのウラル視察

[illegible]

花柳界の今昔譚

「退韓命令何んのソノ自由鐵拳振るうたく」

年中絣の浴衣を着た戸叶さん　料亭千歲の女將語る

[illegible]

行李の中には

[illegible]

何でも當時流行

[illegible]

現代の人達は

[illegible]

男？女？

怪物パツパの正體

（二）自腹を切つて男の客に心中立

米の値下

[illegible]

戸籍面か

[illegible]

岡惚れを

[illegible]

立て換え

[illegible]

十七日夜の賑ひ

宛然白晝の如き假裝行列の往來　抱腹絶倒大仕掛

滑稽珍裝

[illegible]

陳列棚の

[illegible]

野天活動

[illegible]

神に入り

[illegible]

鳳輦還行

十七日に優る還行日の雜沓

未明に到

[illegible]

單獨變裝で

御目玉を頂戴

[illegible]

龍山では

撲り合ひ　百餘名が入亂れて

[illegible]

素晴らしい各町の寄附金

前年の約三倍

[illegible]

滿載貨車燒失す

軍備生材料

[illegible]

不逞内地人

脅喝現行を取押へらる

獨立同情者

[illegible]

記者團の南水源地見學

水道課の案内で

[illegible]

半島球界のため

運動器具店を松村氏創設

[illegible]

運動界

[illegible]

演藝案内

喜樂館 十月十五日より特別大興行 本町壹丁目
散り行く花 全五巻
電光石火 全卅一巻

朝鮮郵船
元山出帆
釜山出帆
木浦出帆

黑水晶 全六巻
孤松の棧道 全五巻
白旗八郎 全四巻
大正館
血潮の鳴戸 全五巻
金名
田宮坊太郎 全五巻
第一聲
黄金館

朝鮮郵船會社
仁川出帆

最上清酢
十倍酢
三矢酢醸造會社
京城本町四丁目
ミツヤ印　新乃露

月經 流經新藥 レスノリン
（常盤藥院）

ヨシトクタビ
阿波正藍染の元祖
ゴム底地下足袋の親玉
徳島足袋株式會社

永樂町二丁目
京染 悉皆 つぼらや
ヲカダ

はらにカタマリが

悪性感冒と
吸入用酸素
◇酸素吸入と諸症
京城鑛素錦株所

本場大島紬
本場織元
出張所
電話一九〇一番
京城本町一ノ五一
勝久京城支店

專賣特許 間宮式手提金庫割引提供
但シ符號付堅牢
本廣告切拔御持參又ハ添付御注文下サレ候御方ニ限リ前特價金貳拾四圓廣告ニ致居リ候一號更ニ左ノ價格ニ御割引仕候
●寸法巾一尺一寸横八寸高四寸五分
割引價格 金廿三圓
株式會社 熊平商店
京城本町二丁目
電話長三一六一二四 振替京城二二五四番

美術染物
龜屋染工場
京城永樂町二丁目
電話一五八五番

大破格賣出し
轉業に付き左記の期間内ストーブ及金庫を廉賣す
期間 自十月十日 至十月末日
ストーブ
金庫
寶武男商店
電話長一四二一番

電氣

生活改造ノ威力
皇后陛下御買上
賜 之光榮
無くてはならぬものは蓄電池の使用廢物利用で家族も來客も無上の樂しみと便利機械で電氣が製して入れられる理想通り電氣燈
亦電燈の電氣を移して小さな容器に蓄へ置き自由に特歩きが出來、使つて無くなれば誰でも容易に補充が出來、何回でも繰返して使用が出來る、驚く程經濟と便利なる專賣特許品蓄電池を早く試用して實益を得られよ本社が實益實効を責任を以て斷言保證す
世見の電燈會社が横暴とか電燈が暗いとか料金が高いと苦情を申す必要は無い、早く此電燈を使用して夫れ等の解結をしてはどうですか

本品の特色

應用品目録

專賣特許輕便電熱器 各種
炭價暴騰驚くに足らず　オンドル用

本社ハ左記ノ場所ニ營業所及分工場ヲ開始致シ候ニ付特約販賣御希望ノ御方ハ至急御來談相成度候
京城本町五丁目四二
大日本電氣工業社營業所
京城岡崎町九十番地ノ二
大日本電氣工業社分工場

電氣

獵
人ト學生用
ハ此靴ニ限ル
◎京城ニコン安イ純生ゴム靴
純生ゴム製
◎弱イ修繕ノ出來ヌ總ゴム靴ト違ヒマスナ
京城興業社
製造元

たんせきヨクキクかせねつキク
天授
本舗 山崎帝國堂

新靴投賣品
總本店 倉持靴問屋

體温器
赤心堂石井商店

滋養痰咳特効藥

發賣元
和光堂京城支店
電話一九九番

結核性最新適應劑
池田注射液!!
適應症 肺結核、喉頭及腸結核、カリエス、肺炎、肋膜炎、腹膜炎、結核性關節炎、腺病質氣管支炎、ルイレキ、痔瘻其他結核疾患一般
奏効 治癒す
本病に惱む患者諸氏は躊躇せず最寄醫院にて治療を請はれん事を勸告す
池田注射液合資會社
京城本田病院
池田注射液治療院
高橋病院

歐米各國自轉車及附屬品販賣 貸自動車營業
仁川府新町瓢館前
一町田自轉車商會
主 一町田仙次郎